

PART1 安心・安全を地域で創る、自主防災組織

参考資料、引用：自主防災組織の手引（総務省消防庁）



平成 19 年 5 月に狩尾地区で行われた土砂災害訓練のようす

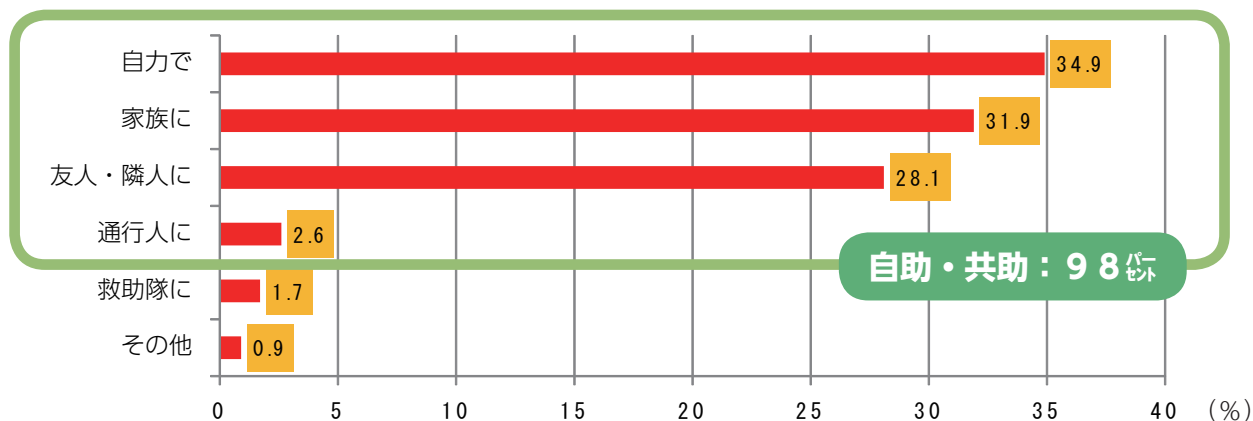
改めて問われる “自主防災組織”の必要性

災害対応を考えるうえで自助・共助・公助という考え方があります。自助は、自らが自分の命を守ることに、公助は、行政や消防・自衛隊による対策のこと、そして、共助は近隣が互いに助け合っ
て地域を守ることを指します。その共助の中心的な役割を果たすのが、自主防災組織です。

自主防災組織とは、地域住民で自発的に防災活動を行う組織のことで、阿蘇市では主に、行政区ごとに組織されており、平成 25 年 4 月 1 日現在で 110 組織、94 割の組織率となっています。

災害時には、行政や消防団の活動だけでは限界があり、特に、災害の規模が大きくなるほど、それが顕著に現れます。そこで、いざというときに地域で迅速に活動する自主防災組織の必要性が近年、重要視されています。平成 7 年 1 月に発生した阪神淡路大震災を例に挙げると、生き埋めや閉じ込められた際に、実に 98 割が自助、共助により救助されているのです。（下図参照）
社会のつながりや人々との関わり合いが希薄化している地域社会において、いざというときに地域が果たす役割、自主防災組織の必要性について、皆さんで考えましょう。

● 阪神淡路大震災で生き埋めや閉じ込められた際の救助



（出典：(株)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」）



消防団とは異なる

自主防災組織の役割

自主防災組織は、消防団活動と同様に防災活動を行うという点で違いはありませんが、あくまでも消防団は公的機関であり、当該地域のみ活動とは限りません。災害の規模が大きくなるほど手が届きにくくなり、消防団に頼らない自主防災組織が担う役割はとても重要になります。（左表参照）

自主防災組織の主な活動

前述のとおり、災害時には消防団活動と同じように、避難の呼びかけや避難所への誘導、地域住民の安否確認など多岐にわたります。

また、日頃の活動としては、研修会の実施や災害危険箇所の点検、防災資器材の備蓄・点検など、災害が起きたときに備え、活動を行います。

ただし、自主防災組織の運営や活動

は、高齢化や昼間の活動要員の不足、活動に対する住民意識の低下などにより、活動のマンネリ化などの課題が指摘されています。

こうした課題を克服するためにも、できる範囲で少しずつ息の長い活動にしていくことが重要で、普段の区（自治会）活動の中に、防災の要素を取り入れるなど、できることから取り組み、防災活動を継続していくことが大切です。

“地域を知ること”が

“地域を守ること”につながる

自主防災組織の役割は、災害時の活動だけではなく、前に述べたとおり災害が起こった場合を想定した日頃の活動が重要になってきます。その上で、その地域の特性や災害が発生しやすい箇所などを事前に知っておくこと、そして、最も重要なことのひとつとして、人災を最小限にいくとめるために地域の連絡網の整備、要支援者を把握することなどが挙げられます。

そうした活動を進めていくには、近隣住民との結びつきをはじめとした地域コミュニティ機能の強化が必要不可欠です。もちろん、自主防災組織を結成することで、コミュニティの維持が図られるケースもあり、防災を通じて地域の輪が強まることも期待されます。

“地域を知ること”は、地域の特性や土地などと同時に、地域に暮らす人々たちを知ること、地域社会の関わりがより深くなり、そのことが、地域を守ることにつながるのかもしれない。

●問い合わせ

総務課 防災交通係

☎ 22・3111

（お知らせ端末）☎ 56・3111

● 自主防災組織と消防団の役割

	自主防災組織	消防団
活動場所	区（自治会）単位などの地域の狭い範囲で活動	▶ 詰所などに集合し、行政の指揮により活動 ▶ 火災現場や被害の多い場所が中心
地域での活動時期	災害発生当初から地域で活動を開始	▶ 災害発生時はまず決められた場所に集合し、指示を受けて活動 ▶ 火災発生時など、各地域ですぐに活動できるとは限らない
活動内容	避難誘導、負傷者の救出、救助、初期消火など	消火活動、水防活動、負傷者の救出・救助、避難誘導など
特徴	▶ 狭い範囲のみで活動 ▶ 地域の細やかな特徴や人と人の関係にまで入り込める ▶ 限られた地域の人を助けることに専念できる	▶ 比較的広い範囲で活動 ▶ すべての狭い地域に精通しているとは限らない ▶ 管内の重要な災害に活動を重点化することもある

（出典：熊本県自主防災組織結成・活動の手引き）

大雨に
備えるために

PART2

梅雨時期前に

確認しておきたい

5

つのこと

問総務課 防災交通係 ☎ 22-3111

●年間降水量に占める梅雨の時期（6・7月）の降水量の割合

	平年値 (mm)		比率 %
	梅雨時期	年	
阿蘇山	1304.3	3206.2	41
熊 本	805.7	1985.8	41
鹿児島	771.2	2265.7	34
宮 崎	738.6	2508.5	29
佐 賀	677.5	1870.1	36
長 崎	629.0	1857.7	34
福 岡	532.7	1612.3	33
大 分	526.3	1644.6	32

い よいよ梅雨時期を迎えます。左記の表を見ても分かるとおり、梅雨の期間に降る雨の量は、年間の3割から4割にもなります。

特に、阿蘇地域は地形的にも雨が多い地域で、長崎県や福岡県、大分県といった周りの県に比べて2倍以上もの雨が降ります。だからこそ、より一層の警戒と雨への対策が必要なのです。私たちが経験した災害の教訓を生かすためにも、今回は、梅雨時期前に最低限確認していただきたい5つの項目についてお知らせします。

市では、夜中に大雨の予報があった場合、また、台風接近の予報があった場合に、夕方の明るいうちの危険が差し迫っていない段階から、早めの避難を呼びかけています。暗くなってから、気象状況が悪化してから避難は、危険を伴います。

災害から命を守るためには、避難することこそが究極の対策になります。「予防的避難」は、防災行政無線及びお知らせ端末にてお知らせしますので、時間に余裕をもつて早く安全に避難しましょう。

なお、「予防的避難」はあくまで自主避難となりますので、食べ物や毛布、ラジオなど必要な用品をご準備のうえ避難をお願いします。

1

危険が差し迫る前に、早めの避難を。
予防的避難で危険を回避！

●予防的避難時の避難場所
(自主避難場所)

- ▼一の宮保健センター
- ▼農村環境改善センター
- ▼阿蘇西小学校体育館
- ▼波野保健福祉センター





● 砂防堰堤工事ライブカメラ一覧

箇所名	字名
1 阿蘇品川 1	阿蘇品
2 塩井川 1	塩井
3 野中川 3	野中
4 北坂梨川 1	北坂梨
5 北坂梨川 2	北坂梨
6 北坂梨川 3	北坂梨
7 鬼塚川	鬼塚
8 坂梨地区	坂梨
9 黒川 4	黒川

☎ 阿蘇地域振興局土木工務第二課 ☎ 22-0535

● 黒川河川ライブカメラ一覧

箇所名	字名
1 阿蘇市内牧	
2 ふれあい水辺公園	
3 阿蘇市古城	
4 阿蘇市跡ヶ瀬	

☎ 阿蘇地域振興局土木工務第一課 ☎ 22-0491

一 昨年の豪雨災害で土砂災害が発生した左記の箇所では、現在、砂防堰堤工事が進められており、工事の情報をインターネットのライブカメラで配信しています。

いづれもパソコンやスマートフォン、携帯電話でご覧になれますので、雨量が多いときなどに周辺の地域、河川状況などの確認にご利用ください。

また、黒川河川沿いの4か所にライブカメラを通じ、河川の水位状況などをご覧になれます。

なお、砂防堰堤ライブカメラは、工事完了時までの設置となり、その後撤去されます。

2

砂防堰堤や河川の状況を
ライブカメラで確認しよう！

ライブカメラの視聴手順

- ① 阿蘇市ホームページ
 - ② 「防災」をクリック
 - ③ 「黒川河川・黒川調整池堰・砂防工事進捗ライブカメラ」をクリック
 - ④ ご覧になりたいカメラをクリック
- ※ 9 ページにホームページ URL を記載しています。

この画面に切り替わります！

《熊本県総合型防災情報システム：河川カメラ情報の画面》

河川カメラ情報

更新 前画面へ

カメラ一覧 複合表示画面 過去画像表示

ガイド地図

河川カメラ現況図 撮影時刻: 2014年04月30日 15時12分

阿蘇市の情報は、こちらをクリックしてご覧になれます。

凡例

- 稼働中
- 未更新
- メンテナンス中
- 将来設置予定

※映像システムの点検作業等により、一部画像が更新されない場合や配信を停止する場合があります。

当サイトは、河川を身近に感じていただくなど、県民の皆さんに活用していただくために提供しています。

地図上のマークを
を選択すると、カメラ
ごとの河川カメラ情報を
表示します。